



2014

11

vol.469



日進牧場の預託牛  
それぞれの牧場へ帰郷

政府は6月、JAグループの事業と組織の見直しを含めた規制改革実施計画を閣議決定し、農協法の改正などに向けた具体的な制度の検討を始めました。

一方、JAグループは、全国や都道府県など各段階で、農業者の所得増大などを目的とした自己改革案について協議し、政府・与党の検討への反映を目指しています。

JAグループの自己改革案の検討では組合員段階からの意見の積み上げが重要であり、そのためには、JAグループの事業・組織の現状と果たしている役割について、理解と共通認識が大事なことから、特集することにしました。

## 協同組合とは

相互扶助の精神で成立



協同組合は、一人ひとりでは経済的に弱い立場にある人が集まり、相互扶助の精神の下、協同して事業を進め自らの経済的・社会的地位を高めていこうとする自立的な組織です。19世紀にヨーロッパで資本主義社会の成立とともに誕生し、世界各地に広がりました。

協同組合と株式会社では、設立の基本的な考え方や運営が大きく異なります。協同組合の目的は組合員の生産や事業、生活を守ることで、利潤の追求ではありません。一方、株式会社は利潤の追求が目的で、株主にできるだけ多く配当することが求められています。

また、協同組合は、組合員が事業の利用者であり、運営者でもあることが特徴で、組合員のニーズに応じて事業を開拓します。一方、株式会社の運営は、株主の所有する株数に応じた議決権で決まります。

### 協同組合と株式会社との違い

|        | 協同組合                                  | 株式会社                                 |
|--------|---------------------------------------|--------------------------------------|
| 目的     | 組合員の生産と生活を守り向上させる(非営利目的)              | 利潤の追求(利益の追求)                         |
| 組織者    | 農業者、漁業者、森林所有者、労働者、消費者、中小規模の事業者など(組合員) | 投資家、法人(株主)                           |
| 事業、利用者 | 事業は根拠法で限定、事業利用を通じた組合員へのサービス、利用者は組合員   | 事業は限定なし、利益金の分配を通じた株主へのサービス、利用者は不特定多数 |
| 運営者    | 組合員(その代表者)                            | 株主代理人としての専門経営者                       |
| 運営方法   | 1人1票制(人間平等主義に基づく民主的運営)                | 1株1票制(株主による運営支配)                     |

## J Aの役割と機能

地域に根ざした活動展開

J Aは、農家の営農と生活を守り高め、よりよい社会を築くことを目的に組織されました。この目的のために、営農指導から生活事業まで、総合事業体として組合員にサービスを提供してきました。生産資材・生活資材の共同購入や農畜産物の共同販売、貯金の受け入れ、農業資金の融資や共同利用施設の設置、万が一の事態に備える共済などの事業や活動を行っています。農村部の少子高齢化に合わせ、JAが福祉事業に取り組むことで、高齢者が安心して暮らせる地域づくりを実現しています。近年は健全な食と農を次世代につなげようと、青年部や女性組織などを中心に食育教育も盛んでいます。

現在、日本では行き過ぎた市場原理主義により、格差社会の拡大と地域経済の疲弊に拍車がかかりっています。農業・農村にかかる課題は多くありますが、地域に根差した組織としての役割がJAに一層求められています。

- ⑥准組合員の事業利用について、一定のルール導入を検討
- 政府は6月、JAグループの事業と組織の見直しを含めた規制改革実施計画を閣議決定し、「規制改革実施計画」を決定しました。今後はJAグループの自己改革案を踏まえ、検討することとし、法改正が必要な事項については、来年1月の通常国に改正案を提出する予定です。計画では次の項目が挙がっており、論点となっています。
- ①農協法上の中央会制度について現行制度から新たな制度に移行
  - ②全農・経済連を株式会社に転換が可能になるように法的に措置
  - ③JAの信用事業を農林中金・信連に譲渡し代理店化
  - ④理事の過半は認定農業者と販売や経営のプロへ見直し
  - ⑤JA・連合会の分割・再編や株式会社、生協などへの転換が可能

## 政府・与党における農協改革の論点

## 當農・経済事業



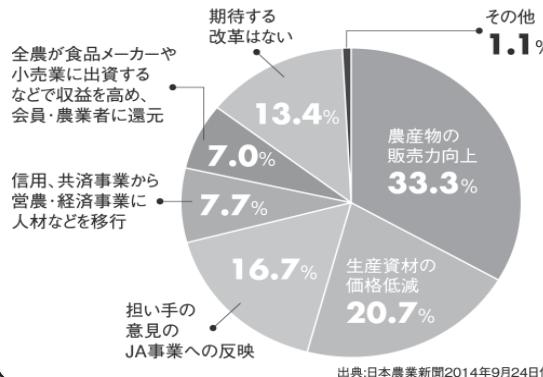
當農・経済事業は、地域農業を振興し、組合員の當農活動や生活を維持・向上させるJAの基幹事業です。

JAは発足以来、行政や関係機関と連携して産地形成を図ってきました。JAに集荷された農畜産物は、全農・経済連と一体となつた流通・販売体制により消費者のもとに届き、安全・安心な食料の安定供給に貢献しています。

組合員の當農・経営支援に向けて、個々のニーズをくみ取るために、地域農業の担い手に出向くJA担当者（愛称TAC）などの配置も進めています。

また、地域農業の活性化や農業所得増大に向けて、JA事業の改革を期待する声も上がっています。日本農業新聞が行った「農政・農協改革モニター調査」によると、JAグループに期待する改革として、「農産物の販売力向上」が33.3%と最も多く、「生産資材の価格低減」が20.7%、「担い手の意見のJA事業への反映」が16.7%と続きました。このような課題に対してもJAグループ全体で取り組むことが求められています。

### JAGループに最も期待する改革



## 信用・共済事業



JAGループの信用事業は、組合員から貯金を受け入れ、これを組合員に貸し付けるという相互金融によって、當農と生活の改善・向上を図るもので、「JAバンク」としてJA、信連、農林中金が一体となり運営しています。

JABankは一般の金融機関と異なり、「農業経営基盤強化資金（スーパー・レ・資金）」といった農家向け制度金融の窓口となるなど、農業金融の役割を担っています。また、地域に根差した金融機関として各種ローン相談など、地域の資金ニーズへの対応にも取り組んでいます。

共済事業（JA共済）は、地域密着の「助け合い」事業を展開しています。組合員やその家族または地域住民の病気や災害など、さまざまにリスクに対する保障を提供し、生活の安定と将来の安心を図るものです。

さらに、農業経営の法人化などを見据え、農業リスク分野への取り組みを強化しています。自然災害発生時においては、迅速に損害調査・支払査定を実施しており、東日本大震災では9700億円を超える共済金をお支払いしています。また、健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりに貢献するため、交通安全教室や笑いと健康教室、高齢者集団保養検診、災害シートサービスなど、さまざまな地域貢献活動に取り組んでいます。

信用、共済事業では、農業の6次産業化や再生可能エネルギー事業、食農教育の支援、被災者支援などにも力を入れています。

## 中央会の役割



中央会の業務の一つとして、「経営・監査」があります。中央会はJAGループ組織の監査を行い、経営の健全性を検証しつつ、監査情報を中心会経営指導やJAバンクと共有することによって、現場実態に即した経営指導が可能になっています。さらに、破たん未然防止に向けた自主ルールの運用や、特定地域で問題が発生した場合には、都道府県中央会と全中が一体的に対応を行っています。

また、「當農・農政」も重要な役割です。政府の農業政策や予算の策定などに際し、生産現場の実態を反映させるため、現場の声を集約し、JAグループを代表して政策提案や要請活動等を行っています。さらに、JAグループの事業間調整を行うことにより、農家・組合員への當農指導などをサポートしています。

また、中央会は研修会の開催や「JA経営マスターコース」の運営など組合員・役職員に対する「教育事業」を行ったり、介護福祉や食農教育などJAが行うくらしの事業の展開を支援する「地域・生活事業」、JAグループを代表した情報発信やJAグループのイメージアップを目的とした「広報事業」などを行っています。

### 中央会が行う主な事業





▲会長 田中春次さんによる挨拶

今金町民センターにおいて  
10月18日、「第28回年金友の会  
つどい」が開催されました。  
午前の部では北海道厚生農業協同組合主任薬剤師である澤田雅弘氏を迎え、「病気にならない方法について」という題目で講演を頂きました。

午後の部には道内でも実力派の演歌歌手、はかまだ雪絵さん・大橋美月さんによる歌謡ショーが行われました。見事な歌声とパフォーマンスで会場は大盛り上がりでした。



▲熱唱するはかまださん



▲客席を盛上げる大橋さん



▲主任薬剤師澤田氏による講演



▲たくましく成長し退牧する牛たち

町内の酪農家から良質な粗飼料を与え、強健性を高めるために預託されていた100頭を超えるホルスタインが10月24日、それぞれの牧場へ帰郷しました。当日は天候に恵まれ、関係機関の方々のご協力により積み込み作業は順調に進み、無事退牧を終えることができました。

預託牛たちは日進牧場の自然の中で約5ヶ月間放牧され、のびのびとたくましく成長し、生産者をはじめ関係者の方々も満足そうでした。



▲熱心に説明を受ける組合員

組合員を対象に人・農地プランに関する説明会が各地区で10月28日・29日の2日間で開催しました。当日は役場職員が「人・農地プラン」・「中間管理機構」・「山間地域等直接支払交付金」・「多面的機能支払交付金」について説明をしました。

これから自分たちが取り組むことになるかもしれない大事な内容なので、組合員の皆さんは熱心に説明を聞いていました。



年金友の会

盛大に開催!



日進牧場の預託牛

退牧



人・農地プラン

説明会

# Next GENERATION

## 新時代の担い手たち

第35回

トマンケシ地区 黒沢 正雄さん [20歳]

(くろさわ まさお)

北海道檜山北高等学校卒 (就農1年目)

《経営作物》 水稻、馬鈴薯、小麦、大豆、甜菜

《家族構成》 黒沢 元 (父)・美枝子 (母)・カツエ (祖母)



### 《就農のきっかけは?》

親が農業を営んでいた背中を見て、将来的には自分がやりたいと思っていました。トラクターが好きで、将来的には自分が乗つて農作業をしてみたいと思っていたのもあり、就農することを決めました。

### 《農業をしていて感じることはありますか?》

農業を営んでいく上で、天候を読むのは難しいです。雨が欲しいときには降らず、いらないときには降ったりと厳しい状況になつたりしますが、農業は一年一年が勝負ということで、やりがいがあります。

### 《休日の過ごし方は?》

札幌に行つたり、家でのんびりTVを見たりしています。

### 《今後の生活はどうですか?》

中学・高校と家の農業は手伝ってきたので、大体の流れはわかっています。細かいことを覚えていくことは大変ですが、玄米センターの仕事にも慣れ、楽しく充実しています。

### 《今後の夢、またはどうしていきたいか?》

知識と経験を積み、家の大黒柱である父親を超えていけるような農業者になりたいと思います。

### 《黒沢さんより一言》

これから先輩方とは長い付き合いになり、お世話になる機会もたくさんあると思います。トマンケシにはこういう「若手農家もいるんだ!」とこれを機に覚えていただけたらと思います。よろしくお願ひします。

今金町を担う若者達を紹介する「一ナ」。第35回目はトマンケシ地区の黒沢 正雄さんをご紹介します。黒沢さんは檜山北高校を卒業後に就農され、1年目になります。両親の下で農業について学び、日々精進しています。農業を営みながら玄米センターでアルバイトもしております。忙しい毎日を送っています。趣味は野球。商工会チームに所属しています。そんな黒沢さんに色々なお話を伺いました!

取材にご協力いただきありがとうございました。子供のときから農業に携わっているということで、知識も経験もあります。これからもう一回り大きく成長し、今金農業を背負って立つ一人として盛り上げていくことを期待しています!

# 平成27年産の ゲタ・ナラシ対策 に加入しましょう！！

## 27年産から対象者要件が変わります！

「畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）」及び「米・畑作物の収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）」の交付対象者は、27年産から認定農業者、集落営農、認定新規就農者であればよく、いずれも規模要件はかかりません。担い手の方が幅広く参加できるようになります。

まだ認定農業者等の担い手となっていない方は、**27年産の加入申請期限（27年6月末）**までに、認定農業者や認定新規就農者となっていただくか、集落営農を組織して参加していただくこと等が必要です。お早めに準備をお願いします！

### ○ ゲタ対策のそばの要件について

そばに対する「畑作物の直接支払交付金（ゲタ対策）」については、品質の良い国産そばが安定的に供給されるよう、**平成26年産から**、麦や大豆と同様に、農産物検査を受けたそばのみが交付金の対象となります。

※ 平成27年産からは、平成26年度中にそばの農産物検査の規格の見直しを行った上で、規格外品のそばは交付金の対象外となります。

経営所得安定対策の内容や対象者要件について詳しく知りたい方は、  
北海道農政事務所 函館地域センターにお問い合わせください。

電話番号 0138-26-7800  
フリーダイヤル 0120-38-3786

# 各課職員の紹介

# Vol. 5

5回目の各課職員の紹介は営農部 酪農畜産課・営農部 販売課①をご紹介します。JA今金町へお立ち寄りの際、または外勤の際はよろしくお願ひします。

## 営農部酪農畜産課



【1列目左より】

須藤 綾子  
酪農畜産課長

加藤 直樹  
杉内 智子

【2列目左より】

金木 義則  
内ヶ島雅明

係長 葛井 史紘  
調査役 大口 治

## 営農部販売課①



【1列目左より】

係長 米世 隆一  
矢野 篤  
山口 徹也  
石川 幸多

【2列目左より】

三津橋和彦  
杉本 和彦  
加藤 晋一

## ～今金町保険福祉課健康推進グループからのお知らせ～

★重要！1月に実施している冬期健診は秋期健診（今回）に統合いたしました。

# 秋期健診のご案内

## 特定健診・基本健診・がん検診・感染症検診

### 【検診日・検診会場】

|           |            |
|-----------|------------|
| 11月24日(月) | 種川構造改善センター |
| 11月25日(火) | ハ束交流センター   |
| 11月26日(水) | 金原基幹集落センター |
| 11月27日(木) | 神丘構造改善センター |
| 11月28日(金) | としべつ保健センター |
| 11月29日(土) | としべつ保健センター |
| 11月30日(日) | としべつ保健センター |

送迎の必要な方は、別途対応いたしますので、お申込み時にご連絡下さい。



### 【受付時間（各検診共通）】

- ①7:00~7:30 ②8:00~8:30 ③9:00~9:30  
④10:00~10:30

### 【検診実施医療機関】

北海道結核予防会札幌複十字総合健診センター

健康体験コーナー  
あります♪

お申込方法：電話82-2780又はとしべつ窓口までお申込ください。

# 感謝！あなたに “ほしい”が当たる！

ホクレンSS  
オータム・ウインターフェア2014

ありがとうございます  
灯油配送で  
当たる！

10/20(月) ~ 12/31(水)

期間中、灯油配送にて  
**200ℓ以上** 給油された方の中から  
ホッと一息、癒しのひとときをプレゼント  
10/1からの灯油配送レシートが対象となります。

抽選で全道合計  
**600名様に**

アイロボット  
ロボット  
掃除機  
ルンバ  
**5名様**



デロンギ  
コンビコーヒーメーカー  
**15名様**



パナソニック  
スチーマー<sup>ナノケア</sup>  
**30名様**



ダイソン  
コードレス  
クリーナー  
**5名様**



パナソニック  
フットマッサージャー<sup>ナノケア</sup>  
**15名様**



選べる道内  
ペア温泉宿泊券  
**30名様**



**500名様**

※賞品写真はイメージです。

全国共通おこめ券2kg (1kg×2枚)

詳しくは下記問い合わせまでお気軽にどうぞ！

ホクレン今金給油所

瀬棚郡今金町字今金79番地5

☎ 0137-82-0241

オイルキャン  
ペーンも実施中

11/29(土)  
まで

オイル交換でお得！

期間中、エンジンオイルは  
当店通常価格より

**200円**

お安くなります。

1ℓ  
当り

キャンペーン期間中  
農協スタンドでオイル  
交換をされた方に

BOXティッシュ  
プレゼント！

